

やまぐち YAMAGUCHI

第96号

令和6年11月15日

編集発行: 山口も～やっこ地域力協議会
広報やまぐち編集委員会



掛下町 山田茂樹さん撮影

10月13日(日) 秋晴れの下、山口八幡社例大祭が行われました。

大祭当日の朝、警固まつり保存会馬付き担当の皆さんは午前5時に集合し、献馬のお世話や飾りつけを行いました。日の出の空が今日一日の晴天を約束しています。

そして礼大祭は、午前7時50分、公民館グラウンドにて鉄砲隊の号砲から始まりました。

7/27(土) 屋外映画



今年の夏祭は
屋外映画
「FLY!」
を上映し
感動を共有



2024 も～やっこ祭開催お礼

7月27日(土)に夏祭り(屋外映画)を、11月10日(日)には地域交流秋イベントと二つのも～やっこ祭を開催しました。

この事業の目的は、「新旧住民や世代を超えた交流で地域がひとつになれる機会を生み出すこと」にあります。

両日ともに大勢の来場者で賑い、皆さんが楽しんでいらっしゃる様を見て、今更ながらに、山口連区の底力を感しました。

地域の皆さん、地域力協議会各団体スタッフの皆さんに厚くお礼申し上げます。

も～やっこ祭実行委員長 小池芳樹(山口連区自治会長)

11/10(日) 地域交流イベント



も～やっこ
de
みんな笑顔





まちづくりニュース

山口まちづくり協議会
第131号

面白そ うなこと・・・
まち協から・・・

予告

駅前イルミネーション計画！ 12月～2月中旬

山口の「冬の風物詩」として、皆さんからご期待いただいています「駅前イルミネーション」、今年も実施します。

点灯期間は、12月初旬から2月中旬までを予定します。今年から駅前花壇に商用電源を引き込み、より煌びやかな演出となるよう、只今、ワーキンググループで検討しています。

愛環山口駅に帰り着いた方々へひそやかな驚きを演出し、クリスマス、年末・年始、バレンタインデーまで山口駅前を華やかにします。楽しみにしてください。



予告

ごみキャラバン② 12月15日(日) AM9:00 南も～やっこ広場集合



まちづくり協議会では、「このまちをキレイにしたい・・・」の合言葉の下、山口地域の皆さんが“ごみゼロ”の環境で気持ち良く過ごせるよう、年4回の「ごみキャラバン」清掃活動を行っています。

今年度2回目となる活動は、幡山東小学校児童さんと幡山中学校生徒さんが参加して愛・地球博公園線の両側歩道を散歩しながらごみを拾います。

地域の皆さんもぜひご参加ください。

※本ページの写真は昨年度実施時のものです

山口公民館にて催された講座の紹介

公民館が主催した講座には、子供から年配の方まで幅広い年齢層の参加者が集まりました。初めての体験に挑む子供達の真剣な表情や、長年の趣味を深める年配の方の笑顔が印象的です。講師たちの熱心な指導のもと、和気あいあいとした雰囲気の中で充実した時間を過ごしました。

キッズダンス教室



ボールペン画教室



ソーイング教室



おとなダンス教室



シャインカービング教室



健康麻雀教室



消しゴムはんこ教室



小学生茶道体験教室



太極拳教室



今年のも〜やっこ祭では野外映画を上映しました。広々としたグラウンドには大きなスクリーンが設置され、子供たちは映画の開始を今か今かと待ち望み、スクリーンに向かって期待の眼差しを向けていました。映画が始まる前には、縁日の賑わいも加わり、屋台の美味しい料理を味わいながら、自然の中で映画を楽しむひときは、参加者にとって忘れられない夏の思い出となったことでしょう。



野外映画「FLY! フライ」



2024
も〜やっこ祭
夏祭り



屋台村

ポプラの木を伐採しました

山口公民館グラウンドのポプラの木を伐採いたしました。大きな裂傷と内部の空洞が確認されたため、倒壊の危険があると判断し、やむを得ず処置いたしました。長い間グラウンドを見守っていたポプラの木が無くなることは寂しいですね。

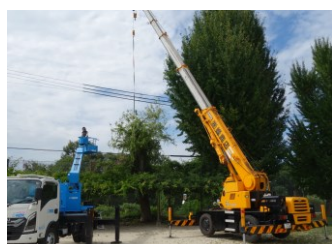


美しいグラウンドを守るために

ゴミの持ち帰りにご協力ください！
みんなで綺麗なグラウンドを維持しましょ



大きなハチの巣



山口公民館事務局 TEL.87-0700 FAX.78-7969(土日祝を除く 9:00~17:00)

ホームページアドレス <http://yamaph.wp.xdomain.jp> Eメールアドレス yamaguchikominkan@gmail.com

「敬老の日」記念品配付事業

9月15日（日）～16日（月祝） 山口北憩いの家

今年度も「敬老会」に替わる事業として敬老の日記念品の配付を行いました。

今年度は2日間実施して430人の75歳以上の高齢者の方へ地域通貨券、幡東小児童メッセージ折り紙および企業協賛品を配付し、併せて会場内に設置した喫茶サロンで、お茶を飲みながらゆっくりくつろいでいただきました。

少しでも、高齢者の皆さんに有益な情報を知って頂くため、テーブルごとで防災士と終活アドバイザーによるミニセミナーも開かれました。



「やまぐちの孝行息子」車両の送迎



児童メッセージ折り紙



ふれあいタイム

10月3日（木） 午後3時から午後4時まで 幡山東小学校体育館



今年度第2回目のふれあいタイムが幡山東小学校体育館にて1・2年生児童53人とスタッフ10名の参加で実施しました。

児童達は、綱引きやボッチャ、レール平均台などの遊具で遊びました。参加したスタッフも子供達とふれあう楽しい時間を過ごしました。



ふれあいタイム/
わくわくタイム

低学年児童が遊びを通じて地域の人とのふれあいを目的とした事業で、今年度は6回開催しています。





山口地区社協が今年度6回実施する事業で「ひだまりサロン」があります。お茶を飲みながらゆっくり楽しんでいただける時間を提供します。

今回は、瀬戸の本気ダンスプロジェクト10人の皆さんの「口腔ダンス」とヒロミフラダンススタジオ7人の皆さんの「フラダンス」のご披露がありました。参加者25人、スタッフ12人の参加がありました。



今後の予定

12月2日(月) 午前10時から
ひだまりサロンクリスマス会
2月3日(月) 午前10時から
《出演者検討中》

やまぐち 再発見

山口の地名③ 若宮、海上、屋戸

4 若宮町

かつてこの地に山の神の森があり、そこに山の神や津島神社など多くの神が祀られていたことが町名の由来とされるが、その神社の存在を示す資料は残されていない。

明治時代から昭和にかけて中島と上島、そして東島という「島」があったが、町名設定の際には当時上記の島以外に住所としての字(あざ)若宮が存在したことから若宮町となった。また江戸時代の村絵図には海上にかけて「石場」という地名の記載があった。

5 海上(かいしょ)町

かつてこの一帯まで海であったことが知られ、縄文土器の出土もあった。このことから「海上」となったといわれる。また別な文献にはかつて矢田川沿いに水田を開発した場所は「開所」と呼ばれ、海上の名もここから来ていると書かれている。

海上には江戸時代には20数軒の民家の存在があったとされるが、少しずつ減少し、2005年(平成17年)の愛・地球を機に多くの方が転居された。当時は「海上の森」を訪れる方を頻繁に見掛けたが、もうすぐ20周年を迎える最近は少なくなった。

6 屋戸町

江戸の村絵図には「矢とう」と記されている。武田軍の武将山田信濃守の大蛇退治の言い伝え(山口の民話「九本の矢羽根」)から「矢頭」の字を当てたとされるが、文献上は矛盾も多く後世に結び付けた可能性もある。明治時代の「島」としては「屋戸」の表記となっていた。地名の多くがその地形から名付けられるが、「やと」と呼ばれる地形は(表記は谷戸)は山間に谷が細長く続く地形である。この「やと」が町名となった発端でその後表記が変わっていった可能性もある。

次回は山口町、田中町、柳ヶ坪町を予定しています。

～山口郷土資料館～

山口八幡社例大祭子供獅子連奉納 10月13日(日)



八幡社例大祭にて、地域の安全と子供たちの健やかな成長を祈念して、子供獅子連の奉納が行われました。

第2回地域一斉清掃 9月29日(日)

山口連区では、4月と9月に区民の皆さん総出で地域一斉清掃が行われています。

「自分の住む町域を自分たちの連帯でキレイにする。」

町内会の皆さんお疲れさまでした。



青パト乗務員講習会 9月24日(火)



青パト乗務員は、定期的に防犯活動に関する講習会を受講して、安全なパトロールについて再確認しています。

瀬戸警察署地域安全課塩谷さんに講習していただきました。



自治会事業所協力金 ありがとうございました

山口連区自治会では、毎年地域の事業所の皆様に「事業所協力金」をいただいて、自治会の防犯・防災事業をはじめ各種の事業や地域の諸団体の活動資金として活用させていただいています。令和6年度は、63事業所から総額651千円のご協力をいただきました。

(令和6年7月1日以降にご協力いただいた事業所)

グループホームあかり セブンイレブン瀬戸山口町店

◇令和5年11月～令和6年3月の主な行事予定

11月	17日(日)	第2回山口連区防災訓練	1月	12日(日)	二十歳を祝う会
	20日(木)	交通街頭大監視	2月	2日(日)	八幡社・観音堂節分
12月	28日(土)	年末特別警戒		14日(水)	広報やまぐち第97号発行
	30～1/5	自治会休み			

編集後記

本号は11月10日に開催された「も～やっこ祭秋イベント」開催の記事を加えて、11月15日に発行としていました。編集会議では、「もし雨天中止の際の穴埋めはどのようにするのか、その場合には〇〇の記事をちょこっと膨らませて・・・準備していました。(昌)